アドプト現場に ADOPT REPORT おじゃましました！

吉野川を私たちの手でもっときれいに！
清掃活動中の現場に取材にうかがいます。
活動日が決まったら、まずは事務局にお知らせください。

「今日は第204回目の清掃です」── 9月14日、掃除を終えて集合した「正法寺川を考える会」の仲間に、米田 博会長が報告しました。

藍住町の中心部を流れる正法寺川は、かつて急激に水質悪化が進んでいた時期があります。米田さん達は、水遊びができる川を自分達の手で取り戻そうと、平成9年に「正法寺川を考える会」を設立。以来、月１回の清掃活動を欠かさず続けてきました。また、水質浄化作用のあるヨシガヤや花菖蒲を水辺に植えたり、町民に呼びかけてクリーンアップ大作戦も行っています。そうした成果が実り、今では正法寺川河畔は人々の憩いの場となっています。

この日の活動で目立ったのは、子ども達の活躍！ 実は、正法寺川を考える会では、平成17年度から藍住北小学校と連携した環境観察学習活動に取り組んでいます。4年生を対象に、正法寺川の水質調査や野鳥観察、水生

「カワセミ号」出動！台風で吹きだまったゴミを拾いました

Adopt16年目

正法寺川を考える会

↑６時30分から清掃に汗を流した会の皆さん（米田さんは後列左から３人目）
→水生生物調査中の子ども達

生物観察会などのエコ・ウォッチングを行い、年度の最後には子ども達が学習の成果を発表します。こうした活動を通じて川に興味をもった子ども達が、清掃に参加してくれるのだとか。「ボートにのってゴミをいっぱい拾ってきれいになった川を見ると、役にたったなあと思う」と子ども達。「子どもが元気な活動は大人を元気にする」と米田さん。川も美しかったけれど、皆さんの笑顔がそれ以上に輝いて見えました。

NEW!

徳島県シルバー大学校上板校第33期生

徳島県シルバー大学は、地域の歴史・文化、身近な防災や環境など幅広い知識と実践力を身につけ、地域のリーダーとして活躍するシルバー世代の養成を目的とした生涯学習校です。皆さんは上板校でともに学び、平成26年3月に卒業したOB生。卒業後も防災センターの見学などさまざまな活動を行っていましたが、「地域への貢献を」と、アドプト・プログラム吉野川への参加を決めました。担当区域は北岸、第十堰付近の600mです。

7月6日は記念すべき初清掃。ヤル気満々で「早くゴミ袋ちょうだい〜、ゴミが無くなる〜（笑）」と、平田正志OB会長の指示を待ちきれないほど。ペットボトル、タバコの吸い殻などを手際よく拾って約1時間で活動終了。「きれいになった気がするな」「自己満足かもしれんけどな（笑）」と口々に。チームワーク抜群、そして元気いっぱいの頼もしい先輩達でした。

NEW!

ダッシュ隊徳島

ダッシュ隊徳島（川島 淳代表）は、徳島を拠点に被災地支援を行うボランティア団体です。東日本大震災の被災地支援活動に参加したメンバーが中心となって、徳島から東北の子ども達への心の支援を行っていこうと2012年3月に発足。以来、東北の子ども達を徳島に招いて演舞場での阿波おどり体験や川遊びなどを楽しんでもらおうというプロジェクト、被災地でのボランティア活動、街頭募金など、「徳島を元気に！」と精力的に活動しています。アドプト・プログラムへの参加もその一環、西条大橋南詰から東へ600mを担当しています。3月に続き、この日は2回目の清掃活動。野草が咲き誇る初夏の堤防を、お揃いのＴシャツでのんびりと…。「思ったよりゴミが少なかった」「これだけしか拾えなかった」という声もあり、早くもアドプトの効果を感じたのでした。
ダッシュ隊徳島URL⇒http://www.dash-tokushima.info/

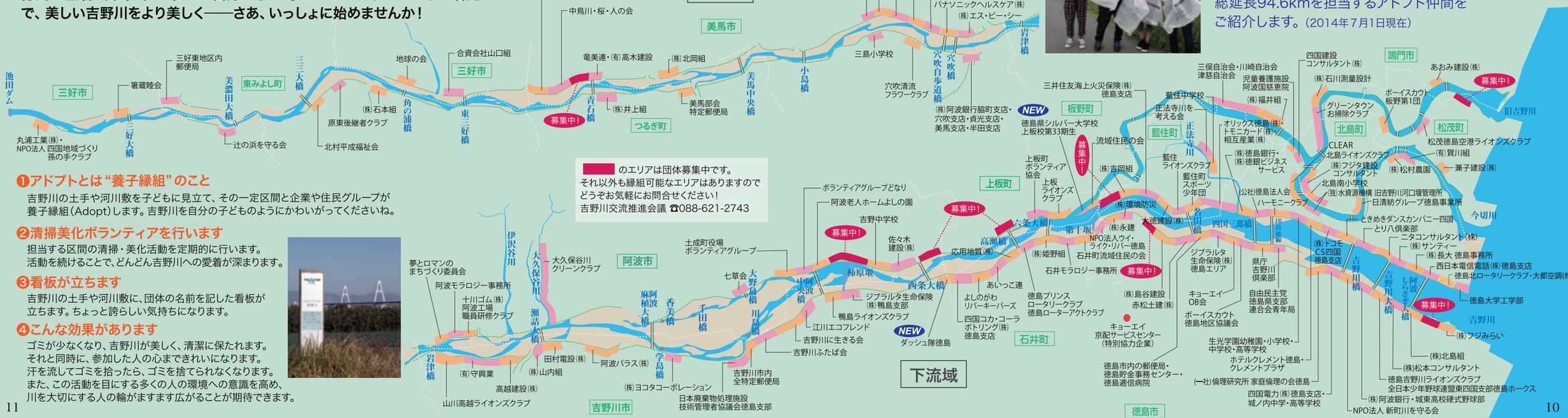
CLEAN UP
YOSHINOGAWA
ADOPT PROGRAM 吉野川

四国三郎・吉野川はかけがえのない私たちの家族

参加しよう！アドプト・プログラム吉野川

徳島の宝物“吉野川”を私たち自身の手で守ろうというボランティア活動で、美しい吉野川をより美しく──さあ、いっしょに始めませんか！

1999年にスタートしたアドプト・プログラム吉野川は今では、138の団体・企業、14,102人が参加する大プロジェクトとなっています。
総延長94.6kmを担当するアドプト仲間をご紹介します。（2014年７月1日現在）



❶アドプトとは“養子縁組”のこと

吉野川の土手や河川敷を子どもに見立て、その一定区間と企業や住民グループが養子縁組（Adopt）します。吉野川を自分の子どものようにかわいがってくださいね。

❷清掃美化ボランティアを行います

担当する区間の清掃・美化活動を定期的に行います。
活動を続けることで、どんどん吉野川への愛着が深まります。

❸看板が立ちます

吉野川の土手や河川敷に、団体の名前を記した看板が立ちます。ちょっと誇らしい気持ちになります。

❹こんな効果があります

ゴミが少なくなり、吉野川が美しく、清潔に保たれます。
それと同時に、参加した人の心まできれいになります。
汗を流してゴミを拾ったら、ゴミを捨てられなくなります。
また、この活動を目にする多くの人の環境への意識を高め、川を大切にする人の輪がますます広がることが期待できます。